

## 総合複写サービス契約における IC カードの利用方針

2008年に札幌で開催されたG8大学サミットにおいて「札幌サステナビリティ宣言」が採択され、ここでは「大学は、持続可能な社会実現のための原動力になる」という決意が示され、研究と教育を通じて持続可能な社会づくりに貢献すると同時に、「自らのキャンパスを実験場」として、低環境負荷社会のモデルとなる必要があることが謳われている。

これを踏まえ、本学でもサステナブルキャンパス構築のために、さまざまな活動を行っており、この一環として、本学では会議のペーパーレス化など、CO<sub>2</sub>の排出削減につながる紙の削減を推進している。

情報環境推進本部としても、紙の削減を推進するため、紙の使用量を利用者個人毎に把握可能とするICカードを利用した環境整備のため、総合複写サービス契約におけるICカードの利用については下記のとおりとする。

1. 複合機・複写機の予算管理は従来通り磁気カードの利用を可とするが、将来的にICカード職員証及び学生証（以下「北大ICカード」という。）に切り替える。

総合複写サービス契約締結時において、全ての学生に北大ICカードが配付されていないこと及び本学の多様な予算管理に複合機・複写機各社の予算管理ソフトが対応していないことから、複合機・複写機の予算管理については、従来通り磁気カードの利用を可とする。

ただし、北大ICカードの利用環境が整備された時点で、磁気カードから北大ICカードに移行すること。そのために、学内の課金の業務の標準化を図る。

2. 複合機・複写機の利用にあたって、北大ICカードを利用することで、利用者個人毎の紙の使用量を把握することにより、そのデータを活用し紙の使用量の削減を目指すとともに、情報セキュリティの向上を図る。このため、予算管理の必要のない職員には、複合機・複写機の利用にあたって北大ICカードを利用することを周知する。

- ・ 印刷枚数の管理・・・北大ICカードを利用することで利用者毎に紙の使用状況を把握し、そのデータを活用し、紙の利用削減を図る。
- ・ ICカードによる出力制御・北大ICカードをかざさないと印刷物が出力されない機能を有することにより間違い印刷の防止、個人情報等を印刷した紙の置き去り防止及び利用者毎の複合機・複写機の利用状況を把握し、効率的な複合機・複写機の利用を検討し、複合機・複写機の台数の削減を図る。
- ・ データの提供・・・収集した職員毎の使用量のデータは部局等の必要に応じ提供する。

3. 利用者個人毎の紙の使用量を把握できないプリンターは可能な限り、総合複写サービス契約の複合機・複写機に移行するとともに必要台数の見直しを行うこと。